

科目名	産業・組織心理学特講	担当者	タナカ ケンイチロウ 田中 堅一郎	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	本講義では、心理学の応用領域の一つである産業・組織心理学の概要を理解し、最終的には産業・組織心理学で得られた知見が職場や家庭内での問題と具体的にどう関連しているかについて考えることを目的とする。		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>問題発見・解決能力：事象を注意深く観察し、解決策を提案することができる。</p> <p>論理的・批判的思考力：得られる情報を基に、論理的な思考、悲観的な思考ができる。</p> <p>リーダーシップ・協働力：集団の中で連携しながら、協働者の力を引き出し、支援できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業・組織心理学における研究領域とその概要を理解することができる。 産業・組織心理学で得られた知見が、職場や家庭内での問題と具体的にどう関連しているか理解できる。 自分にとって最も関心のある産業・組織心理学のトピックについて討論し、レポートに纏めることができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>1つのレポート作成にあたり、基本教材および参考文献の読み込みに25時間以上、Manaba-Folioへの提出・再提出のやりとりに20時間以上を目安とする。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの推敲過程において、Manaba-Folioの全受講者用の掲示板機能(「スレッド」)に届いた受講者からの質疑に対して応答し、その過程を受講生全員に公開する。 オープンエデュケーション教材(OER)を基本教材の補助として視聴する。 <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>指定された基本教材、および参考文献を読みこなし、レポートを作成する。それでも理解できない場合は、Manaba-Folioを通して適宜科目担当者に質疑をする。</p>		
スケジュール	<p>前期：教材1のレポート課題1の草稿は7月末、課題2は8月末を目処に提出できるように学習をすすめる。いずれの課題も9月中旬までに最終稿を提出する。</p> <p>後期：教材2のレポート課題1の草稿は11月中旬、課題2は12月中旬を目処に提出できるように学習を進める。いずれの課題も2019年1月中旬までに最終稿を提出する。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	79%	最終提出期限内に提出されなかったレポート課題は、(原則的に)0点となります。 教材の引き写しは評価の対象外とします。
	平常評価	21%	最終提出までにレポートの草稿の送信・返信を行ったかどうかで評価します。草稿を一度も出さずにいきなり最終稿を出された場合、そのレポート課題の評価点は79点以下しか得られません。
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> レポート課題の作成において、自分の興味・関心だけをエッセイのように文章を連ねていくのはご遠慮願います(こうしたレポートは評価の対象としません)。レポート課題といえども、論文の体裁で書いて下さい。 いずれのレポート課題についても、本文に引用した文献名は、かならず文末の文献リストに掲示してください。その際、本文に引用した文献(引用文献)と、本文には引用しなかったがレポート作成に際して参考にした文献(参考文献)とは仕分けて示してください。 産業・組織心理学は心理学の応用領域の一つですが、心理学の「応用」領域を理解するためには、心理学の基礎知識や基礎的理論の理解が問われます。例えば、仕事のやる気について知りたければ動機づけの生理的機能、人事アセスメントならば心理検査法、職場のストレスならば心理臨床の基礎知識が必要となります。 		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>(1) 著者名： 田中堅一郎 編著 教材名： 『産業・組織心理学エッセンシャルズ 改訂三版』（ナカニシヤ出版，2011年） ISBN:978-4-77-950563-8 2,800円+税</p> <p>(2) 著者名： ベイザーマン，M.H./ ムーア，D.A. 著，長瀬勝彦 訳 教材名： 『行動意思決定論 バイアスの罠』（白桃書房，2011年） ISBN:978-4-561-26563-4 3,800円+税</p> <p>教材1(1)の内容は「仕事への動機づけ」「人事評価制度」「人事測定の方法」「職場の人間関係と意思決定」「職場集団におけるリーダーシップ」「職場のストレスとサポート」「組織における協力と葛藤」「有能感が推進するキャリア発達」「売り手と買い手の心理学」「心理学で用いられる統計の基礎的知識ガイド(特論1)」「産業・組織心理学史(特論2)」から構成されている。 教材(2)は，経営における意思決定について全11章から構成されている。</p>
参考図書	<p>中島義明ほか編『心理学辞典』（有斐閣，1999年）ISBN:978-4-64-100259-3 6,800円+税 下山晴彦ほか編『誠信 心理学辞典 [新版]』（誠信書房，2014年）ISBN:978-4-414-305074 6,264円 高木修 監修，田尾雅夫 編集『組織行動の社会心理学（シリーズ21世紀の社会心理学2）』（北大路書房，2001年）ISBN:978-4-76-282224-7 2,500円+税 ロバート・B・チャルディーニ『影響力の武器 なぜ人は動かされるのか [第三版]』（誠信書房，2014年）ISBN:978-4-41-430422-0 2,700円+税</p>
履修上のポイント	<p>参考図書に示された『心理学辞典』『誠信 心理学辞典 [新版]』をもとに，分かりにくい専門用語を確認したり，心理学関連の他科目も学習することが望ましい。</p>
レポート課題 1	<p>基本教材1の(1)について，1章から9章，および特論2の各章を要約し，全体についてのコメントを述べること。 留意点：各章を800字以内で要約し，全体についてのコメントを付記すること（合計10,000字以内で収めること）。</p>
レポート課題 2	<p>基本教材1の(2)について，1章から11章の中から，自分の興味・関心のあるものを1章選び，その章の内容を自分の興味・関心の高い事柄を中心に，3,000字～4,000字でまとめること。 留意点：参考図書もレポート作成の必要に応じて引用すること。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名： 森下高治ほか 著 教材名： 『クローズアップ メンタルヘルス・安全（現代社会と応用心理学4）』（福村出版，2015年） ISBN:978-4-571-25504-5 2,400円+税</p> <p>本書は，メンタルヘルス，ヒューマンエラー，リスクマネジメントに関して応用心理学の視点から，20のトピックを中心に3章から構成されている。</p>
参考図書	<p>中島義明ほか編『心理学辞典』（有斐閣，1999年）ISBN:978-4-64-100259-3 6,800円+税 金井壽宏『キャリア・デザイン・ガイド』（白桃書房，2003年）ISBN:978-4-56-123386-2 2,100円+税 谷口弘一・福岡欣次『対人関係と適応の心理学 ストレス対処の理論と実際』（北大路書房，2006年） ISBN:978-4-76-282527-9 2,400円+税 坂野雄二 監修『学校，職場，地域におけるストレスマネジメント実践マニュアル』（北大路書房，2004年）ISBN:978-4-76-282408-1 2,800円+税</p>
履修上のポイント	<p>基本教材1と内容的には重複している箇所もあるが，内容的には（基本教材1と比べて）やや臨床心理学や安全工学との関連が強い。しかし基本教材1の内容が十分理解されていれば，教材2はさほど晦渋とは感じられないと思われる。</p>
レポート課題 1	<p>基本教材2の3章を要約し，全体についてのコメントを述べること。 留意点：各節を3,000字以内で要約し，全体のコメントを付記すること（合計9,000字以内で収めること）。</p>
レポート課題 2	<p>基本教材2を構成する20のトピックの中から，自分の興味・関心のあるものを1つ選び，その内容を当該書に示された「引用・参考図書」も参照しながら，3,000字から4,000字でまとめること。 留意点：参考図書もレポート作成の必要に応じて引用すること。</p>